

臨床検査値の解説



当院で使われる主な臨床検査の「項目名」や「検査目的」について簡単に解説します。

● 尿検査

略称	項目名	検査の目的
尿蛋白定性		腎疾患や高血圧症などで陽性となります。
尿糖定性		血糖と併せて、糖尿病の有無を調べます。
潜血		血液が尿に混じると陽性となります。
カビ リノーゲン定性		脱水や肝・胆道疾患などで陽性となります。正常は(±)です。

● 血液検査

略称	項目名	検査の目的
WBC	白血球数	感染症や炎症などの有無を調べます。
RBC	赤血球数	貧血や多血症、脱水などを調べます。
Hb	ヘモグロビン量	赤血球中の色素を測ることで、貧血の有無を調べます。
Ht	ヘマトクリット値	血液に含まれる赤血球の割合を測ることで、貧血の有無を調べます。
MCV	平均赤血球容積	貧血の種類を調べます。
MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	貧血の種類を調べます。
MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	貧血の種類を調べます。
Plt	血小板数	止血作用を調べます。

● 血液像検査

略称	項目名	検査の目的
好中球		細菌感染症などで増加します。
リンパ球		急性感染症などで増加します。
単球		感染症などで増加します。
好酸球		アレルギー性疾患などで増加します。
好塩基球		アレルギー疾患などで増加します。

● 血液凝固検査

略称	項目名	検査の目的
PT	プロトロンビン時間	血液を固める機能（凝固機能）を調べます。
PT-INR	プロトロンビン時間-INR	
PT-比	プロトロンビン比	
APTT	活性部分トロンボプラスチン時間	
フィブリノーゲン	フィブリノーゲン	

● 生化学検査

略称	項目名	検査の目的
TP	総蛋白	血液に含まれるタンパクの総称で、全身の栄養状態の把握や慢性の肝疾患・腎疾患などを調べます。
Alb	アルブミン	血液中のタンパクの一つで、肝疾患や腎疾患、骨髄疾患などを調べます。
T-Bil	総ビリルビン	黄色い色素で、黄疸の有無や程度を調べます。
D-Bil	直接ビリルビン	肝疾患などで上昇します。
AST (GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ (グルタミン酸オキサロ酢酸トランスアミナーゼ)	肝臓や心臓に多く含まれる酵素で、肝疾患や心疾患などを調べます。
ALT (GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ (グルタミン酸ピルビン酸トランスアミナーゼ)	主に肝臓に含まれる酵素で、肝疾患などを調べます。
LDH	乳酸脱水素酵素	全身に存在する酵素で、主に肝疾患や心疾患などを調べます。
ALP	アルカリフォスファターゼ	リン酸化合物を分解する酵素で、肝疾患や胆道疾患、骨疾患などを調べます。
CK	クレアチンキナーゼ	心筋梗塞や激しい運動などで上昇します。
γ-GT	γ-グルタミルトランスフェラーゼ	胆道系に含まれる酵素で、アルコール性や薬剤性の肝障害などを調べます。
AMY	アミラーゼ	デンプンを消化する酵素で、膵臓や唾液腺の疾患などを調べます。
T-Cho	総コレステロール	高コレステロール血症などを調べます。
HDL-C	HDL-コレステロール	高脂血症などを調べます。
TG	中性脂肪	高脂血症や脂肪肝などで上昇します。
UN (BUN)	尿素窒素	腎機能障害などで上昇します。
UA	尿酸	痛風や腎機能障害などを調べます。
CRE	クレアチニン	腎臓の機能を調べます。
CRP	C反応性タンパク	体内の炎症の程度を調べます。
Na	ナトリウム	水代謝の指標であり、体の水分バランスなどを調べます。
K	カリウム	嘔吐や下痢などで低下し、腎不全などで上昇します。
Cl	クロール	ナトリウムと同様に、水分バランスなどを調べます。
Ca	カルシウム	副甲状腺機能障害や腎不全などを調べます。
IP	無機リン	副甲状腺機能障害や腎不全などを調べます。
GLU	血糖	血液中のブドウ糖を測り、糖尿病を調べます。

● 糖尿病検査

略称	項目名	検査の目的
Hb-A1c	ヘモグロビン-A1c	糖尿病の指標で、過去1~3ヶ月の血糖値の状態を調べます。

● 感染症検査

略称	項目名	検査の目的
RPR	梅毒 (RPR法)	梅毒の感染を調べます。
TPLA	梅毒 (TPLA法)	梅毒の感染を調べます。過去の感染もわかります。
HBs抗原	B型肝炎ウイルス抗原	B型肝炎ウイルスの現在の感染の有無を調べます。
HBs抗体	B型肝炎ウイルス抗体	B型肝炎ウイルスの現在または過去の感染の有無を調べます。
HIV1/2抗体	ヒト免疫不全ウイルス抗体	ヒト免疫不全ウイルスの現在または過去の感染の有無を調べます。